

こんな子どもたちの姿が生まれました！

- 自分の考えを大切にしながらも、他者の考えや意見を受け入れ、様々な視点から自分の考えを柔軟に見直すことで、より妥当な考えをつくりだすことができました。

タブレット端末及びネットワークの活用による効果



ネットワーク(共有フォルダ)を活用することで、互いの予想や仮説を尊重しながら、追究できるようにする。

- ・予想や仮説を書いたノートをタブレット端末で撮影し、画像データを共有フォルダに保存する。
- ・共有フォルダに保存されたノートの画像データを閲覧し、他者の考えを把握する。



プログラミングを体験することを通して、身の回りにある実際の道具の仕組みを体験的に学習する。

- ・目的に合わせてセンサーを使い、電球の点灯を制御するプログラムを作成する。
- ・自分が意図した動きとするために、試行錯誤しながらプログラムを作成する。

教師の指導のポイント

- タブレット端末を用いて、ネットワーク上に保存されたデータから他者の予想や仮説を把握できるようにすることで、実験後に、他者の考えを振り返り、より妥当な考えに改善できるようにする。
- 複数あるプログラミングに関する教材の中から、それぞれの授業においてプログラミングを取り入れるねらい、学習内容や学習活動、児童の発達の段階等に応じて、適切なものを選択し活用する。

タブレット端末及び大型提示装置の活用による効果



タブレット端末や大型提示装置を用いて、考えや実験結果を説明し合うことで、自分の考えを検討できるようにする。

- ・プログラミングの結果、教材がどのように動作したのかをタブレット端末で撮影する。
- ・大型提示装置やタブレット端末を用いて他者に撮影した動画の説明をする。

教師の指導のポイント

- 学習を深めていく過程で、児童が相互に情報を交換したり説明したりする手段として、様々な視聴覚機器を活用することが考えられる。これらの機器の特性を踏まえて活用する。